

公益社団法人日本新体操連盟

平成 27 年度第 2 回総会議事録

1. 会議名： 平成 27 年度第 2 回総会
2. 日時： 平成 28 年 3 月 18 日（金） 14 時 05 分～14 時 40 分
3. 場所： 東京都港区西麻布 3-2-32
「霞会館・サロン」
4. 構成員現在数： 20 名
5. 出席社員数： 16 名
以下出席社員
熊谷 正儀(仙台ジュニア体育研究所)
芳賀 久美子(Little queen RG)
藤野 朱美(Diana)
秋山 久世(ASKA・RG)
飯田 まぶき(インタークオレス)
波多野 恵子(東京ジュニア新体操クラブ)
横山 真理子(ピュアR. G)
曾我部 美佳(町田RG)
村上 佳子(Ribbon 新体操クラブ)
加藤 弘美(STELLA)
寺田 江身子 (R. G. C. 富士 スターリス)
梅田 雅代 (明石RG)
松島 博子 (広島オーキス新体操クラブ)
吉田 佳代 (三木RG)
梶原 多栄子(梶原ジュニア新体操クラブ)
土屋 瑞恵 (土屋R. G)
6. 欠席社員数： 4 名
小林 かおり(サンシャインR. G)
玉野 由美(Shaleur R.G)
橋爪 みすず (ポーラ☆スターRG)
芳野 操(樟蔭ジュニア)
7. 出席役員： 二木 英徳 (会 長) 石崎 朔子 (副 会 長) 関田史保子 (副 会 長)
福本 隆 (副 会 長) 池田真喜子 (専務理事) 山崎 浩子 (常務理事)
渡辺 守成 (常務理事) 秋山エリカ (理 事) 岡 久留実 (理 事)
崇島 慎一 (理 事) 谷口 裕代 (理 事) 橋本 千波 (理 事)
守永 直人 (理 事)
以上 13 名
8. 欠席役員： 谷原 誠 (理 事) 宮嶋 泰子 (理 事) 小島浩二郎 (監 事)
以上 3 名
9. 議案：
決議事項
第 1 号議案 平成 28 年度事業計画について (定款第 4、35 条、第 4 章関連事項)
第 2 号議案 平成 28 年度収支予算について (定款第 4、35 条、第 4 章関連事項)
第 3 号議案 代議員候補者推薦委員会について (定款第 5 条関連事項)
第 4 号議案 その他
10. 議事の経過及び結果
(1) 議長による開会宣言
(公社)日本新体操連盟・定款第 15 条の定めにより議長を会長二木英徳が務め、開会宣言を行った。

(2) 定足数の確認

定款第 17 条により総会出席者数 16 名であることが福本隆副会長より告げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。

(3) 議事録署名人の選出

定款第 18 条により、議長は議事録署名人を福本隆副会長と崇島慎一理事にする事を議場に諮り承認された。

(4) 議決事項

第 1 号議案 平成 28 年度・事業計画について (定款第 4, 35 条関連事項)

議長は説明者として石崎副会長を指名し、石崎副会長は下記内容の説明を行った。

1. 平成 28 年度年間事業計画について

平成 28 年 8 月にはリオデジャネイロオリンピックが開催される。両大会に出場する選手のコンディションを考慮し、イオンカップを 9 月 9 日～11 日に開催する。

その兼ね合いにより、クラブ団体選手権を 8 月 20 日 21 日に、クラブ選手権を 7 月 22 日～24 日に開催する。

2. 第 25 回全日本新体操クラブ選手権について

「第 25 回クラブ選手権」を 7 月 22 日から 24 日にかけて千葉ポートアリーナにて開催する。出場年齢、獲得出場権等内容は 27 年度と同様とする。

正確な大会スケジュールはエントリー締め切り後確定するので、確定後案内する。

3. 第 16 回全日本新体操クラブ団体選手権について

「第 16 回団体選手権」を 8 月 20 日 21 日にて開催する。種目は、シニアの部・クラブ 6&フープ 2 ジュニアの部・ボール 5 となる。

ジュニアの部において上位 3 チームの中から年齢基準に合致したチームが「全日本ジュニア新体操選手権」への出場権獲得となる。

4. 世界新体操クラブ選手権について

「世界新体操クラブ選手権」を 9 月 9 日から 11 日で開催する。

前回大会より、観る方がより解り易いようにトーナメント方式を変更した。特に問題もなく、今後もこの方式を採用する。

5. 第 17 回日本新体操祭について

「第 17 回日本新体操祭」を「世界新体操クラブ選手権」と同時開催する。日程は 9 月 10 日。「世界新体操クラブ選手権」中日に開催する時間の関係上参加チーム数は 40 チームが望ましい、6 月 1 日からの先着順とする。今年は系列クラブにはまとめて出場頂くことをお願いする。スムーズな運営のため了承いただきたい。

6. 第 19 回全日本新体操チャイルド選手権・第 16 回全日本新体操キッズコンテストについて

「第 19 回チャイルド選手権」「第 16 回キッズコンテスト」を 2017 年 2 月 24 日から 26 日にかけて開催する。

チャイルド選手権の元々の主旨は表現力を付ける事、新体操を楽しむ事を目的とした。ロシアの「ベビーカップ」を参考にして欲しい。

チャイルド選手権では 2 月の開催結果を踏まえ、3・4 年生の部での落下減点の軽減等変更を加える予定。キッズコンテストではマット傷つけるような靴、物の使用をご遠慮いただく。詳しくは、配布する要項・ルールにて確認いただきたい。

7. 平成 28 年度指導者育成セミナーについて

「審判セミナー」を各大会前に行う。大会の指針、意義などを学べる機会なので審判ではない方も是非受けてほしい。

その他にも「指導者育成セミナー」を開催予定である。

以上の説明の後、議長は質疑、報告等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第1号議案「平成28年度事業計画」については原案のとおり全会一致で可決承認された。

第2号議案 平成28年度・収支予算について（定款第4,35条関連事項）

議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

平成28年度事業はほぼ平成27年度事業と同様に進める予定であり、予算についても実績を反映し、計上している。

1. 新体操祭について

新体操祭を40チームでのエントリーとし、収入325万円と計上している。

2. 全国・国際競技会の開催収入について

クラブ選手権のみ収入を減らしているが、これは千葉開催である事と、7月開催である事から、10%参加減を見込み予算組した。

3. 収入計について

その他収入も実績を反映して計上し、合計3億169万1320円を計上している。

4. 新体操祭について

新体操祭は前の説明同様40チームでの支出を見込み、236万3540円の支出計上した。

5. 全国・国際競技会の開催支出について

クラブ選手権は千葉開催のため、冷暖房費がかかる事。宿泊費等普段よりかかる事から、前年予算より277万程高い1690万80円の支出とした。

6. 指導者海外研修会支出について

今年457万2600円計上しているが、新体操先進国のロシア、ベラルーシ、ウクライナの3か国がクリミア半島問題で情勢が不安定となっている。情勢次第では開催できないこともあるので、未開催の場合は決算で大きな差額が出ることもあるので承知いただきたい。

7. 事業費支出計について

以上の事から、28年度事業費支出を2億8583万1320円となっている。

8. 管理費について

実績等から1586万円を管理費として計上している。

9. 合計額について

事業費支出と管理費を合わせ、3億169万1320円が当期事業活動支出となり、当期収支差額が0円。

前期繰越収支差額1097万1989円がそのまま次期繰越収支差額とした。

以上の説明の後、議長は質疑、報告等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第2号議案「平成28年度収支予算」について原案のとおり全会一致で可決承認された。

第3号議案「代議員候補者推薦委員会」について（定款第5条関連事項）

議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. 代議員候補者推薦委員会について

現第 2 期代議員の任期は平成 29 年度末までとなっている。その前までに選挙で第 3 期代議員を選ぶが、その代議員候補者を推薦する委員会を設ける事が代議員選挙規則に決まっている。その委員は選挙規則第 4 条で、会長、事務総長と総会で委嘱された 3 名となっている。

よって、委員 5 名のうち 2 名は二木英徳会長、池田真喜子事務総長、残り 3 名に福本隆副会長、石崎朔子副会長、渡辺守成常務理事の 3 名を推薦したく、審議いただきたい。

以上の説明の後、議長は質疑、意見等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第 3 号議案「代議員候補者推薦委員会」について原案のとおり全会一致で可決承認された。

第 4 号議案「その他」について

議長は議場にその他議案の提出を諮り以下の提案がされた。

1. 全日本新体操クラブ団体選手権の年齢構成について（定款第 4 条関連事項）

波多野恵子代議員より、クラブ団体選手権ジュニアの部は「全日本ジュニア選手権」への出場資格を獲得できる。ジュニアの部の年齢の上限を現在の中学 3 年生となっている所を「全日本ジュニア」に合わせ高校 1 年生の早生まれとする提案があった。

提案の結果、「全日本新体操クラブ団体選手権・ジュニアの部」の年齢構成を小学 5 年生から高校 1 年生の早生まれとすることに全会一致で可決承認された。

2. 全日本新体操クラブ選手権の年齢構成について（定款第 4 条関連事項）

池田専務理事より、クラブ団体選手権の年齢構成の変更に伴い、現在個人種目の中学 1 年生早生まれが本連盟主催大会に出場できない現状が指摘された。「全日本新体操クラブ選手権」のジュニアの部下限年齢を-12 月 31 日までに 13 歳になる選手-となっているところを-中学 1 年生（4 月 1 日までに 13 歳になる選手）-とする提案があった。

提案の結果「全日本新体操クラブ選手権・ジュニア」の年齢構成を-中学 1 年生（4 月 1 日までに 13 歳）から高校 1 年生の早生まれ（12 月 31 日時点で 15 歳の選手）-とすることが全会一致で可決承認された。

この議事録が正確であることを証するため、議長ならびに議事録署名人は次に署名押印する。

平成 28 年 3 月 18 日

公益社団法人 日本新体操連盟 平成 27 年度第 2 回総会

議 長 二 木 英 徳

議事録署名人 福 本 隆

同 崇 島 慎 一